

13. 比 較

1.

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(1) 彼のパイは私のパイとちょうど同じ大きさだ。

(pie / as / . / one / just / as / his / is / big / my)

(2) このテープはあのテープの2倍の長さだ。

(that / twice / tape / length / this / of / is / . /
one / the)

(3) 彼は私の息子と同じくらい親切な少年です。

(kind / is / as / . / a / as / son / he / boy / my)

(4) 私は彼より多くの本を持っている。

(have / books / . / him / I / than / more)

(5) この車はあの車ほど大きくない。

(car / less / . / than / one / is / this / big / that)

(6) この車は2台のうちで良い方です。

(is / better / car / . / two / the / this / of / the)

[解答]

- (1) His pie is just as big as my pie.
- (2) This tape is twice the length of that one.
- (3) He is as kind a boy as my son.
- (4) I have more books than him.
- (5) This car is less big than that one.
- (6) This car is the better of the two.

Note

13. 比較

1. 原級・比較級・最上級

(1) 彼のパイは私のパイとちょうど同じ大きさだ。

His pie is just as big as my pie.

「ちょうど」

as ~ as ...
「…と同じくらい〜」

中学で「比較」基本構文は学習しますが、その1つの〈as+原級+as ~〉「〜と同じくらい…」の表現に「ちょうど」や「まさに」など、どのくらい同じかを表す次のような語を〈as ~ as〉の前に置くことができます。

just 「ちょうど」
about 「おおよそ」

exactly 「まさに」
almost 「ほとんど」

(1)の問題では「…ちょうど同じ大きさ」となっていますので、**just as big as** として英文を作りましょう。

Note

(2) このテープはあのテープの 2 倍の長さだ。

This tape is twice the length of that one.

倍数+the+名詞+of …
「…の-倍～」

tape を one
で受ける。

「～の何倍だ」は中学英語で〈-times as ~ as …〉を使うと習いますが、同じようなものに次の表現があります。

倍数+the+名詞+of … 「…の-倍～」

This dog is **twice the weight of** this cat.
(この犬はこのネコの 2 倍の重さだ。)

こうした表現で使われる名詞の部分に入る語としては、次のようなものがあります。

number 「数」

amount 「量」

size 「大きさ」

weight 「重さ」

length 「長さ」

height 「高さ」

depth 「深さ」

speed 「速さ」

(2)の問題では「…2 倍の長さ…」となっていますので、**twice the length**

of の語順を作りましょう。

Note

(3) 彼は私の息子と同じくらい親切な少年です。

He is as kind a boy as my son.

as + 形容詞 + a[an] + 名詞 + as ...
「…と同じくらい～な(名詞)」

〈as ~ as〉の間には〈形容詞+名詞〉を置くこともできますが、そのとき冠詞 a[an] が付いていると、as のすぐ後に形容詞がきます。

as + 形容詞 + a[an] + 名詞 + as ... 「…と同じくらい～な(名詞)」

(3)の問題では「…私の娘と同じくらい可愛い少女」となっていますので、
as pretty a girl as my daughter の語順にして英文を作りましょう。

Note

(4) 私は彼より多くの本を持っている。

I have more books than him.

「より多くの本」

many や much の比較級 more が後に名詞を伴う場合は、〈more + 名詞〉

の形をそのままにして文を作ることになります。

(4)の問題では「…彼より多くの本…」となっていますので、**more books than him** の語順を作ります。I have books more than him. としないよう注意してください。

Note

(5) この車はあの車ほど大きくない。

This car is less big than that one.

less+原級+than ~
「~より…ない」

car を one
で受ける。

2 つを比べてどちらかの程度がより低いことを表したいときに次のような表現を使います。

less+原級+than ~ 「~より(原級の程度が)低い、
~ほど…ない」

He is less proud than you.

(彼はあなたほどうぬぼれていない。)

(5)の問題では「…あの車ほど大きくない」となっていますので、**less big than that one** として英文を作りましょう。

Note

(6) この車は 2 台のうちで良い方です。

This car is the better of the two.

the + 比較級 + of the two
「2 つのうちで(一方が)より～」

比べるものが 2 つの場合で「2 つ(人)のうち一方がより～だ」と述べる場合は次のようになります。

… the + 比較級 + of the two 「2 つのうちで～な方」

He chose the bigger of the two bikes.

(2 台の自転車のうち大きい方を彼は選んだ。)

この表現では 2 つのうちのどちらか 1 つに限定されるので、比較級ですが、その前に the を置くことになります。

(6)の問題では「…2 台のうちで良い方…」なので、比較級 better の前に the を置いて the better of the two としましょう。

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(7) 彼女は他の教師よりも優れていた。

(was / to / . / the / superior / teachers / she /
other)

(8) 私はゲームをするより見る方が好きだ。

(to / prefer / games / playing / watching / . /
them / I)

(9) ロシア語はスペイン語よりかなり難しい。

(is / Spanish / more / than / . / difficult /
Russian / far)

(10) 私は彼よりずっと多くの本を持っています。

(have / . / more / I / much / than / books /
many / him) [1 語不要]

[解答]

- (7) She was superior to the other teachers.
(8) I prefer watching games to playing them.
(9) Russian is far more difficult than Spanish.
(10) I have many more books than him.

Note

(7) 彼女は他の教師よりも優れていた。

She was superior to the other teachers.

be superior to ~
「～より優れている」

「他の」

他と比べるのに、**than** ではなく **to** を使う表現に次のようなものがあります。

be superior to ~ 「～より優れている」
be inferior to ~ 「～より劣っている」
be senior to ~ 「～より地位が上(先輩)である」
be junior to ~ 「～より地位が下(後輩)である」

(7)の問題では「彼女は…よりも優れていた」なので、**She was superior to** の語順で英文を作ってください。

Note

(8) 私はゲームをするより見る方が好きだ。

I prefer watching games to playing them.

prefer ~ to ...

「…よりも～を好む」

同じく than ではなく to を使う次の表現で、(8)の問題は英文を作っています。

prefer ~ to ...

「…よりも～を好む」

Note

(9) ロシア語はスペイン語よりかなり難しい。

Russian is far more difficult than Spanish.

「ロシア語」

「かなり」

「スペイン語」

比較級の前に置いて、比較の差の大小を表す語句に次のようなものがあります。very は比較級の強調には使えないことに注意しましょう。

「かなり、ずっと」… much, far, a lot, stii, even

「少し」… a little, a bit

(9)の問題は「…かなり難しい」となっていますので、比較級を強調する **far** を使って **far more difficult** の語順で英文を作りましょう。

Note

(10) 私は彼よりずっと多くの本を持っています。

I have many more books than him.

many more + 可算名詞の複数形
「ずっと多くの～」

more を強調する次のような表現にも注意してください。

many more + 可算名詞の複数形 「ずっと多くの～」
much more + 不可算名詞 「ずっと多くの～」

He has many more pens than me.

(彼は私より多くのペンを持っている。)

I have much more money than you.

(私はあなたより多くのお金を持っている。)

(10)の問題では「…ずっと多くの本…」で、「本」は数えられる名詞、つまり可算名詞ですので、**many more books** として英文を作ってください。

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(11) 彼は彼女より 2 時間長くここにいました。

(stayed / longer / . / two / her / he / here /
hours / than)

(12) 私はそこでは最も技術のない大工だった。

(was / skillful / there / . / least / carpenter /
I / the)

(13) これは断然一番良い本です。

(is / far / best / . / the / this / by / book)

(14) これは京都で 3 番目に古いお寺です。

(the / temple / is / Kyoto / oldest / in / . /
third / this)

[解答]

- (11) He stayed here two hours longer than her.
- (12) I was the least skillful carpenter there.
- (13) This is by far the best book.
- (14) This is the third oldest temple in Kyoto.

Note

(11) 彼は彼女より 2 時間長くここにいました。

He stayed here two hours longer than her.

stay 「いる」
の過去形

「ここに」

「2 時間長く」
具体的な数値 + 比較級

比較の差を具体的に数字などで表す場合、次のようになります。

比較の差の数値 + 比較級 + than ~ 「～よりも(差の数値)…」

She was two years older than me.

(彼女は私より 2 歳年上だった。)

(11)の問題では「…彼女より 2 時間長く…」なので、two hours longer than her の語順にして英文を作りましょう。

Note

(12) 私はそこでは最も技術のない大工だった。

I/was/the least skillful carpenter/there.

the least + 原級
「最も～でない…」

「技術のある」

「大工」

原級を使いながら否定的な最上級の意味になるものに次のような表現があります。least は little の最上級です。

the least + 原級 「最も～でない」

He stayed at the least expensive hotel in Kyoto.

(彼は京都で最も値段の高くないホテルに泊まった。)

(12)の英文では「…最も技術のない…」なので、the least skillful の表現を使って英文を作りましょう。

Note

(13) これは断然一番良い本です。

This/is/by far the best book.

「断然、ずっと」
最上級を強める。

「一番良い」
good - better - best

最上級の意味をさらに強めたいときは次の語句を使います。the の前に置くのか、後に置くのかに注意が必要です。

very 「まさに」 ← 〈※the の後に置く〉
much, by far 「断然、ずばぬけて」 ← 〈※the の前に置く〉

This is the very best dictionary. (これはまさに最上の辞書です。)

This dictionary is much the best. (この辞書はずばぬけて良い。)

(13)の問題では「…断然一番良い本」となっていますので、by far を the の前に置いて、by far the best book とします。the の前に by far を置くことに注意してください。

Note

(14) これは京都で 3 番目に古いお寺です。

This is the third oldest temple in Kyoto.

the+序数+最上級
「～番目に…」

「お寺」

最上級の前に序数を置くと次のような表現になります。

the+序数+最上級 「何番目に～」

He is the third tallest in his class.

(彼はクラスで 3 番目に背が高い。)

(14)の問題では「…3 番目に古いお寺…」となっていますので、the third oldest temple とすることになります。

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(15) 私は彼女といたときが一番幸せでした。

(was / the / . / happiest / with / I / I / when /
her / was) [1 語不要]

(16) どんなに賢い人でもミスはするものだ。

(makes / man / . / mistakes / the / some /
wisest)

(17) ジェニファーほど可愛い少女は他にいない。

(is / pretty / other / . / as / as / no / Jennifer /
girl)

(18) 数学ほど難しいものは何もない。

(than / is / difficult / . / math / nothing /
more)

(19) アレックスは誰にも劣らず正直な少年です。

(honest / is / as / as / . / a / Alex / boy / lived /
ever)

[解答]

- (15) I was happiest when I was with her.
(16) The wisest man makes some mistakes.
(17) No other girl is as pretty as Jennifer.
(18) Nothing is more difficult than math.
(19) Alex is as honest a boy as ever lived.

Note

(15) 私は彼女といたときが一番幸せでした。

I / was / happiest / when I was with her.

※他との比較ではなく、同一の人や物の性質や状態について述べる時、最上級でもふつう the を付けない。

接続詞
「～とき」

最上級の表現でも the を付けない次のようなものがあります。

同一の人や物の中における比較では、最上級でも the をふつうは付けない。

ですので、(15)の問題では「私の中における比較」なので、happiest の前に the を付けずに英文を作りましょう。the が不要な語です。

Note

(16) どんなに賢い人でもミスはするものだ。

The wisest man / makes / some mistakes.

「どんなに賢い人でも」
※最上級が譲歩の意味を含むことがある。

(16)の問題では、最上級の次の用法を使っています。

主語に最上級が含まれている場合、「どんな～でさえ」という譲歩の意味を表すことがある。

こうしたものは、その文全体の意味から判断することになります。

Note

(17) ジェニファーほど可愛い少女は他にいない。

No other girl / is / as pretty as Jennifer.

No other + 単数名詞 … as[so] + 原級 + as ~
「～ほど…な～は他にはない」

次のように原級や比較級を使って、最上級とほぼ同じような内容を表すことができます。

- ① **No other** + 単数名詞… **as[so]** + 原級 + **as** ~
「～ほど(原級)な(名詞)は他に一つもない」

(17)の問題では「…ほど可愛い少女は他にいない」ですので、**No other girl is as pretty as** の語順を作ることになります。

その他に中学英語で出てきたものも含めて、最上級とほぼ同じような内容になるものには次のようなものがあります。確認しておきましょう。

- ② **No other** + 単数名詞… **比較級** + **than** ~
「～より(比較級)なものは他に一つもない」
③ ~ + **比較級** + **than any other** + 単数名詞
「～は他のどんな(名詞)よりも…」

(17)の英文を②③で表すと下のようになります。

- ② No other girl is prettier than Jennifer.
③ Jennifer is prettier than any other girl.

no other や **any other** の後の名詞は単数形にすることに注意してください。

Note

(18) 数学ほど難しいものは何もない。

Nothing is more difficult than math.

Nothing … 比較級+than ~
「~ほど…なものは何もない」

「数学」

その他に、最上級とほぼ同じような内容を表す次のような表現もあります。

- ① Nothing … as[so]+原級+as ~
「~ほど(原級)なもの一つもない」
- ② Nothing … 比較級+than ~
「~より(比較級)なもの一つもない」
- ③ ~+比較級+than anything else
「~は他のどんなものよりも…」

(18)の問題は上の②の表現を使って英文を作りましょう。

(18)の英文を①③の表現で表すと下のようになります。

- ① Nothing is as difficult as math.
- ③ Math is more difficult than anything else.

Note

(19) アレックスは誰にも劣らず正直な少年です。

Alex/is /as honest a boy/as ever lived.

「正直な」

as+原級+a[an]+名詞+as ever ~
「これまで～した誰[何]にも劣らず…」

さらに、原級を使って最上級に近い意味を表す次のような表現もあります。

- ① as+原級+as any (+単数名詞)
「どの～にも劣らず…」
- ② as+原級+a[an]+名詞+as ever ~
「これまで～した誰[何]にも劣らず…」

- ① Mallory is as beautiful as any of her friends.
(マロリーは友だちの誰にも劣らず美しい。)
- ② Steven is as clever a man as ever lived.
(スティーブンは誰にも劣らず賢い人だ。)

(19)の問題では、「…誰にも劣らず正直な少年…」となっていますので、as honest a boy as ever lived とします。an honest boy (正直な少年) の語順が as が前にあると honest が an よりも前に出ることに注意してください。an は boy の前になりますので、a に変わります。

この表現は「今まで生きてきた誰にも劣らず…」が文字通りの意味です。

2.

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(1) 彼の靴は 5 万円もした。

(cost / as / . / shoes / 50,000 / as / yen / his /
much)

(2) 彼女は作家というよりもジャーナリストだ。

(so / a / is / . / as / writer / much / she /
journalist / not / a)

(3) 彼らは上に上がれば上がるほど、それだけ
ますます寒くなった。

(colder / they / up / higher / , / the / the / . /
got / it / went)

[解答]

- (1) His shoes cost as much as 50,000 yen.
- (2) She is not so much a writer as a journalist.
- (3) The higher they went up, the colder it got.

Note

2. 比較の慣用表現

- (1) 彼の靴は 5 万円もした。

His shoes cost as much as 50,000 yen.

「(金額が)かかる」
cost-cost-cost

「～も」

原級を使って数や量が多いことを表す表現に、次のようなものがあります。

as many as ～ 「(数の多さを表して)～も」
as much as ～ 「(量の多さを表して)～も」

My father has as many as 3,000 books in his room.
(私の父は自分の部屋に 3,000 冊もの本を持っている。)

(1)の問題では「…5万円も」ですので、as much as 50,000 yen としましょう。金額は不可算名詞なので much を使ってください。

同じような次の表現も合わせて覚えておきましょう。

① as many[much] ～ 「同じ数[量]の～」

② as good as ～ 「～同然」

① There are eight events as many days.

(8日間で8つのイベントがある。)

② This machine was as good as new.

(この機械は新品同然だった。)

Note

(2) 彼女は作家というよりもジャーナリストだ。

She ~~is~~ not so much a writer as a journalist.

not so much A as B
「AよりむしろB」

「ジャーナリスト」

(2)の問題は次の慣用表現を使って英文を作ってください。

not so much A as B 「AというよりもむしろB」

(2)では「…作家というよりもジャーナリスト…」となっていますので、
not so much a writer as a journalist とすることになります。

類似の次のような表現も覚えておきましょう。

not so much as + 動詞の原形 「～さえしない」

She didn't so much as say good-bye.

(彼女はさよならさえ言わなかった。)

Note

(3) 彼らは上に上がれば上がるほど、それだけ
ますます寒くなった。

The higher they went up, the colder it got.

the+比較級~, the+比較級…
「～すればするほど、ますます…」

go up
「上に上がる」

get 「～になる」
の過去形

比較級を使った慣用表現の一つに次のようなものがあります。

the+比較級+主語+動詞~, the+比較級+主語+動詞 …
「～すればするほど、ますます…」

この表現では、主語+動詞が省略されることもあります。

The sooner, the better. (早ければ早いほど良い。)

また、**more+原級**の場合は、これを離さず **the** の後に置きます。

The more excited he got, the more quickly he spoke.

(興奮すればするほど、ますます彼は速く話した。)

the+比較級+名詞の場合も、これらを離さず **the** の後に置きます。

The more books you have, the more wisdom you gain.

(本を多く持てば持つほど、それだけ多くの知恵を得る。)

(3)の問題は「…上がれば上がるほど、それだけますます寒く…」となっていますので、**The higher ~, the colder …** の語順を作りましょう。

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(4) 彼には欠点があるので、かえってそれだけ私は彼が好きだ。

(him / for / the / faults / all / . / I / his /
better / liked)

(5) その映画はますます退屈になった。

(movie / more / . / boring / became / and /
the / more)

(6) 私は彼を信用するほどばかりじゃない。

(better / trust / . / him / than / I / to / know)

(7) 彼は日本語を読むことができない、ましてや書くことはなおさらできない。

(less / can't / , / . / Japanese / much / write /
he / read / it)

[解答]

- (4) I liked him all the better for his faults.
(5) The movie became more and more boring.
(6) I know better than to trust him.
(7) He can't read Japanese,
much less write it.

Note

(4) 彼には欠点があるので、かえってそれだけ私は彼が好きだ。

I/liked/him/all the better for his faults.

all the + 比較級 + for ~
「~のためかえってそれだけ…」

fault 「欠点」
の複数形

(4)の問題は次の表現を使って英文を組み立てましょう。

all the + 比較級 + because[for] ~ 「~なので、それだけ…」

all は the + 比較級を強める役割で、the は「それだけ、その分だけ」といった意味です。because の後には〈主語 + 動詞〉、for の後には名詞(句)が続きます。関連表現として次のようなものがあります。

none the + 比較級 + because[for] ~

「～だからといって、それだけ…というわけではない」

She is none the happier for her great wealth.

(金持ちだからといって彼女が幸せだというわけではない。)

Note

(5) その映画はますます退屈になった。

The movie became more and more boring.

more and more + 原級 「ますます～、だんだん～」

「退屈な」

〈比較級 + and + 比較級〉で「ますます～」は、中学で学習しますが、**more** を前に置く比較級の場合は次のようになります。

more and more + 原級 「ますます～、だんだん～」

Note

(6) 私は彼を信用するほどばかじゃない。

I know better than to trust him.

know better than to ~
「～するほど愚かではない」

「～を信用する」

(6)の問題は次の表現を使って英文を作りましょう。

know better than to+動詞の原形

「～するほど愚かではない、～しないくらいの分別はある」

Note

(7) 彼は日本語を読むことができない、ましてや書くことはなおさらできない。

He can't read Japanese,

much less write it.

否定文～, much less …
「まして…ない」

(7)の問題は次の表現を用いています。

否定文～, much[still, even] less …

「～、ましてや…なおさらない」

この表現は、前に否定文があり、その内容を受けて「ましてや～ない」とさらに否定するものです。

(7)の英文では「…ましてや書くことはなおさらできない」なので、much less write it とすることになります。

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(8) 我々は遅かれ早かれうまくいくだろう。

(or / . / succeed / later / will / sooner / we)

(9) 彼女は怒っているというより驚いていた。

(more / was / than / . / surprised / angry /
she)

(10) 私がお姫様でないのと同様に、あなたは王子様ではない。

(I / prince / are / princess / more / than / . /
a / you / no / a / am)

[解答]

(8) We will succeed sooner or later.

(9) She was more surprised than angry.

(10) You are no more a prince

than I am a princess.

Note

(8) 我々は遅かれ早かれうまくいくだろう。

We / will succeed / sooner or later.

「うまくいく、成功する」

「遅かれ早かれ」

(8)の問題では、次の表現が使って英文を作ることになります。

sooner or later 「遅かれ早かれ」

次の同様な表現も覚えておきましょう。

more or less 「多かれ少なかれ、程度の差はあれ」

I was more or less satisfied. (多かれ少なかれ私は満足だった。)

Note

(9) 彼女は怒っているというより驚いていた。

She was more surprised than angry.

more ~ than ...
「…というよりも～」

「驚いて」

「怒って」

(9)の問題は、次の表現を使っています。

more ~ than ... 「…というよりも～」

この表現は(9)の英文のように、同一の人や物について述べるもので、**-er**の比較変化をする語でも、**than**以下の〈主語＋動詞〉が省略されているときは、下の例文のように〈**more**＋原級〉の形を用います。

This window is more tall than wide. (この窓は幅より縦が長い。)
= This window is taller than it is wide.

Note

(10) 私がお姫様でないのと同様に、あなたは王子様ではない。

You are no more a prince than I am

no more ~ than ...
「…でないのと同様に～ない」

「王子様」

a princess.

「お姫様」

(10)の問題では、次の表現を使って英文を作ることになります。

no more ~ than... 「…でないのと同様に～ない」

これは「明白にそうではない」例を **than** 以下に置いて、主語も「そうでは絶対ない」ことを示したものです。結果としてどちらも絶対にそうではないと「両方を否定する表現」であることを覚えておきましょう。

関連する表現として次のようなものがあります。

no less ~ than... 「…であるのと同様に～である、
…に劣らず～である」

こちらは **than** 以下に「明白にそうである」例を示して「それより少ない」(no less)、つまり「同様にそうである」ことを表す表現です。「両方を肯定する表現」です。

Kyoto is no less wonderful in spring than in autumn.

(京都は、秋同様に[秋に劣らず]春も素晴らしい。)

次の日本語に合う英語になるように()内の語を並べかえなさい。

(11) 彼のパソコンはこの本の大きさしかない。

(computer / no / . / than / is / this / his /
bigger / book)

(12) それは少なくとも 50,000 円はするでしょう。

(will / yen / least / . / 50,000 / it / at / cost)

(13) 彼はたった 500 円しか持っていなかった。

(yen / more / had / . / than / he / 500) [1 語補充]

(14) 彼は 500 円も持っていた。

(had / . / yen / than / he / less / 500) [1 語補充]

(15) 彼は多くても 500 円持っているだけだった。

(had / . / 500 / more / he / yen / than) [1 語補充]

(16) 彼は少なくとも 500 円は持っていた。

(yen / less / had / . / 500 / he / than) [1 語補充]

[解答]

- (11) His computer is no bigger than this book.
- (12) It will cost at least 50,000 yen.
- (13) He had no more than 500 yen. [no を補充]
- (14) He had no less than 500 yen. [no を補充]
- (15) He had not more than 500 yen. [not を補充]
- (16) He had not less than 500 yen. [not を補充]

Note

(11) 彼のパソコンはこの本の大きさしかない。

His computer is no bigger than this book.

no + 比較級 + than ~
「～の…しかない」

(11)の問題は次の表現を使っています。

no + 比較級 + than ~ 「～の…しかない」

この no には話し手の気持ちが入っていて、(11)では bigger を使っていますが、逆に「これだけの大きさしかない」ぐらい小さいと示す表現です。

Note

(12) それは少なくとも 50,000 円はするでしょう。

It will cost at least 50,000 yen.

「(費用が)かかる」

「少なくとも」

(12)の問題では at least 「少なくとも」を使っていますが、これも含めて同様な表現をまとめると次のようになります。

at (the) most 「多くとも、せいぜい」

at (the) least 「少なくとも」

at (the) best 「一番いい状態でも、せいぜい」

at (the) worst 「最も悪い状態でも、最悪でも」

Note

(13) 彼はたった 500 円しか持っていなかった。

He had no more than 500 yen.

no more than ~
「たった～、ほんの～」

(13)の問題では次の表現を使って英文を作りましょう。

no more than ～ 「たった～しか、たった～だけ」

この no にも話し手の気持ちが入っていて、(13)の場合で言うと、「500 円より多いところではない」といった気持ちが含まれています。それで「たった 500 円しか」といった訳語になります。no には強い否定の気持ちが含まれることを覚えておきましょう。

Note

(14) 彼は 500 円も持っていた。

He had no less than 500 yen.

no less than ～

「～も、～ほども」

(14)の問題は次のような(13)の逆の表現を使っています。

no less than ～ 「～も」(多いことを強調)

この no にも話し手の気持ちが含まれていて、(14)の英文の場合、「500 円より少ないなんてとんでもない、500 円も持っていたのだ」といった思いが入っています。

Note

(15) 彼は多くても 500 円持っているだけだった。

He had not more than 500 yen.

not more than ~
「多くても～、せいぜい～」

(15)の問題は次の表現を使って英文を作ることになります。

not more than ~ 「多くても～、せいぜい～」

not は no と違って、単に more than を否定するだけです。ですから「～よりも多くはない→多くとも、せいぜい」の意味になります。

(15)の英文は「…多くても 500 円…」なので、not more than 500 yen としましょう。

Note

(16) 彼は少なくとも 500 円は持っていた。

He had not less than 500 yen.

no less than ~
「少なくとも」

(16)の問題は次のような(15)の逆の表現を使っています。

not less than ～ 「少なくとも～」

やはり not は no と違って、単に less than を否定するだけです。ですから「～よりも少なくはない→少なくとも」の意味になります。

(16)の英文は「…少なくとも 500 円…」なので、not less than 500 yen としましょう。

混乱しやすい(13)から(16)の表現をまとめると次のようになります。

no more than ～	「たった～しか、たった～だけ」
no less than ～	「～も」(多いことを強調)
not more than ～	「多くても～、せいぜい～」
not less than ～	「少なくとも～」

これらの表現のポイントは、no と not の違いです。つまり、no には話し手の気持ちが入っていて「～どころではない、むしろその逆」といった思いが含まれるのに対し、not は単に文や語句を否定するだけ、ということです。

